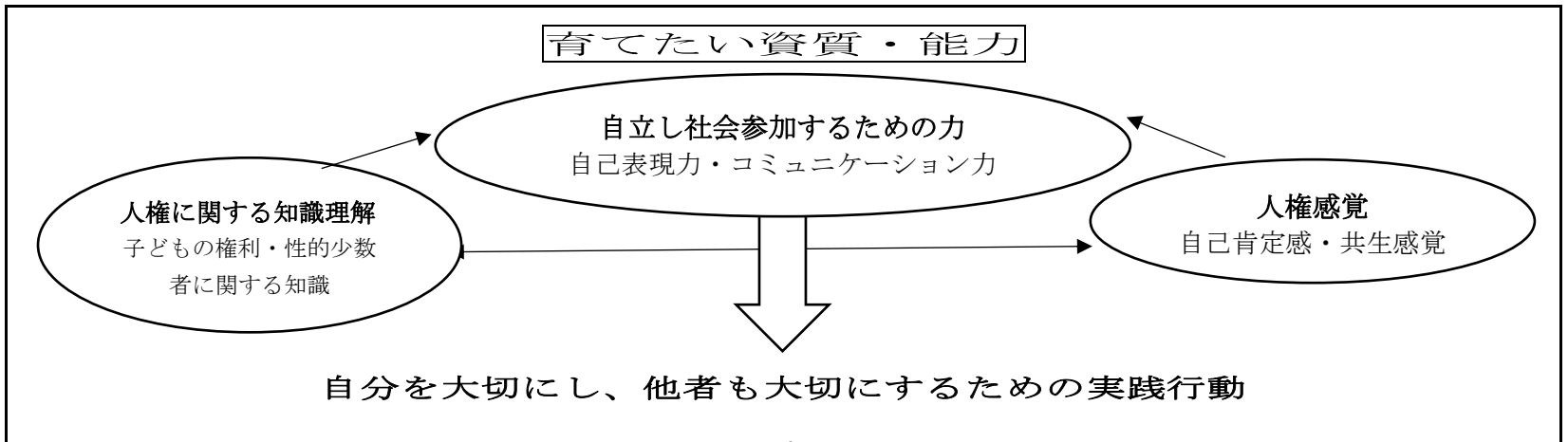
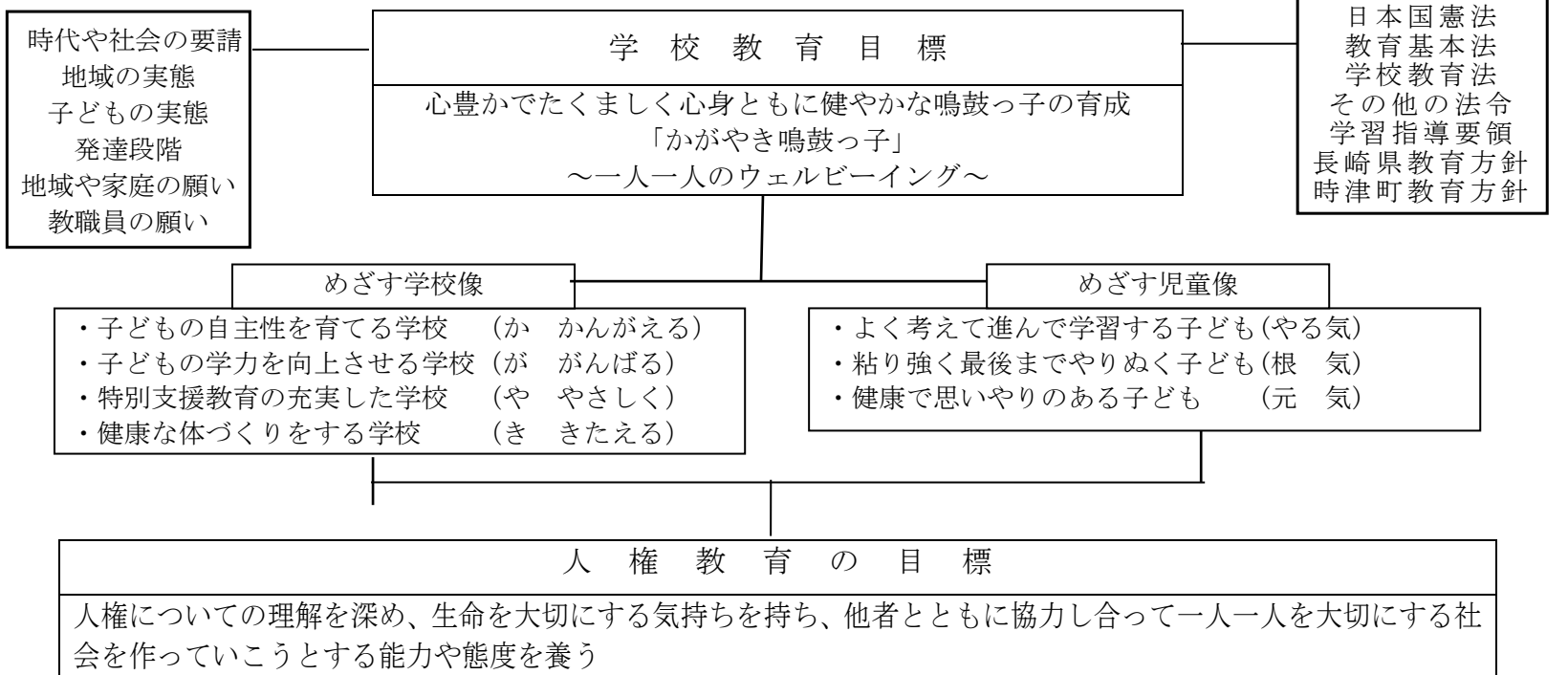


# 令和8年度 人権教育全体計画

人権・平和教育担当



低・中・高学年別人権教育目標		
低学年	中学年	高学年
○誰とでもなかよくする 身近な集団生活に進んで参加し、経験を通して仲間外しやいじわるをしない子どもを育てる。	○相手のことを考える 集団生活を通して、誰にでも公平・公正にふるまおうとする態度を育てる。	○自他の人権を尊重しようとする 集団生活における自他の役割や立場を自覚し、身近な差別をなくそうとする態度を育てる。

根っこでつながる仲間作り			
各教科	道徳	特別活動	総合的な学習の時間
・児童一人一人に確かな学力を保障する。 ・事実を正しく見つめ、差別や偏見に対する科学的な認識と判断力を育てる。 ・一人一人の個性と能力の伸長をはかる。	・道徳的心情と、道徳的実践力を育てる。 ・自ら考え、正しく判断していく心情や態度を育てる。 ・互いの人格や人権について正しく判断し、それを尊重する心情や態度を育てる。	・お互いを尊重し、望ましい社会生活を過ごすための心情や態度を育てる。 ・学校生活の中におけるいろいろな問題点に気づき、みんなの問題として解決する力を育てる。	・主体的な学習態度を育むとともに、人権の視点で自分自身とのつながりを意識できる心を育てる。 ・人の生き方に関わりながら自分自身の生き方に重ねさせ、生きる力を培う。

